

## 家計調査報告

### 1 家計調査にみる品目別都道府県庁所在市別ランキング（高知市）

平成23年平均

総務省が平成24年4月にまとめた「家計調査にみる品目別支出金額及び購入数量の都道府県庁所在市別ランキング（二人以上の世帯、平成23年）」の中から、高知市の消費の特徴をみてみましょう。

#### （1）「かつお」の購入量は、36年間連続全国1位

〈高知県の魚〉に制定されている「かつお」の1世帯当たりの年間購入量は5,031gで全国平均993gの約5.1倍と、昭和51年から36年間連続で全国1位を続けています。また、年間支出額も9,769円で、全国平均1,445円の約6.8倍となっています。

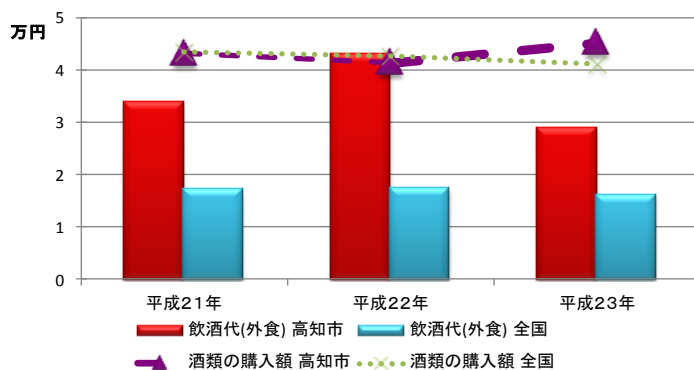
#### （2）飲酒代(外食)全国1位

「飲酒代(外食)」の年間支出金額は、29,007円で平成21年から全国1位となっています。

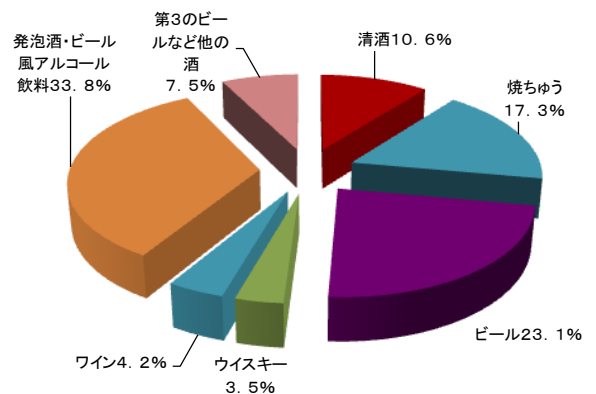
一方、家庭での「酒類」の購入も45,156円で10位と平成22年の30位からランキングアップしています。

なお、平成23年の酒類購入額の多いのは発泡酒・ビール風アルコール飲料(33.8%)で、次にビール(23.1%)、焼酎(17.3%)、清酒(10.6%)の順となっています。

飲酒代(外食)と酒類の購入額推移



平成23年酒類購入額内訳(高知市)



#### （3）その他の年間支出金額

##### ①食料関係

「はくさい漬」、小夏・文旦等の「他の柑きつ類」、「チョコレート菓子」、「乳飲料」が全国1位。「つゆ・たれ」、「かつお節・削り節」が全国2位。「魚肉練製品」、「天ぷら・フライ」が全国3位となっています。

##### ②食料以外

被服及び履物では「運動靴」が全国1位。交通・通信では「携帯電話通信料」が全国2位となっています。

#### ※ 調査結果について

家計調査は、全国の世帯の実態を調べるために調査設計されていますので、標本数に限りがあります。今回の結果は、貴重なデータですが標本誤差もあり、「高知市全体の家計収支の平均」と考えずに、家計収支の動きの参考値としてご利用をお願いいたします。

家計調査にみる高知市の品目別支出額ランキング（平成23年）

区 分	支出金額の多い品目（1～5位）	支出金額の少ない品目（50～51位）
食 料	かつお 1位	加工品 50位
	はくさい漬 1位	ベーコン 50位
	飲酒代 1位	他の野菜の漬物 50位
	他の柑きつ類（小夏・文旦等） 1位	かれい 51位
	チョコレート菓子 1位	鮭 51位
	乳飲料 1位	牛乳 51位
	つゆ・たれ 2位	他の菓子 51位
	かつお節・削り節 2位	緑茶 51位
	魚肉練製品 3位	
	天ぷら・フライ 3位	
	しらす干し 4位	
	干しあじ 4位	
	トマト 4位	
	ぶり 5位	
	かまぼこ 5位	
交通・通信	移動電話通信料 2位	鉄道通勤定期代 50位
	バス代 3位	
	自動車購入 3位	
	タクシー代 4位	
	固定電話通信料 5位	
被服及び履物	運動靴 1位	男子用上着 50位
	子供用シャツ・セーター類 2位	他の婦人用洋服 51位
	婦人用ファンデーション（下着） 2位	
	婦人用セーター 3位	
	仕立代 4位	
	ブラウス 5位	
	子供用寝巻 5位	
帽子 5位		
その他	パーマメント代 1位	
	ゲームソフト等 1位	
	炊事用電気器具 1位	
	敷物 1位	
	茶わん・皿・鉢 2位	
	他の台所用品 2位	
	化粧水・乳液 2位	
	寝具類 3位	
	口紅 3位	
	洗濯用洗剤 3位	
	外国パック旅行費 3位	
	浴用・洗顔石けん 3位	
	電気掃除機 4位	
	栄養剤 4位	

\*都道府県庁所在市（47市区）と川崎市・浜松市・堺市・北九州市をあわせた51市区の順位

## 2 家計調査にみる貯蓄・負債現在高（高知市） 平成23年平均

総務省が平成24年5月にまとめた家計調査報告（貯蓄・負債編）の中から、高知市の貯蓄・負債の状況を見てみましょう。

### （1）二人以上世帯の状況

高知市での調査結果（二人以上の世帯88世帯について集計）は、平均世帯人員2.98人、平均有業人員1.38人、世帯主の平均年齢54.6歳、持家率71.5%となっています。

#### ① 平均貯蓄現在高は1,543万円(全国1,664万円)

1世帯当たりの貯蓄現在高は、平成22年平均の1,625万円に対し、1,543万円と減少しています。

貯蓄の種類別にみると、定期性預貯金が766万円（貯蓄現在高に占める割合49.6%）と最も多く、次いで生命保険など372万円（同24.1%）、通貨性預貯金221万円（同14.3%）、有価証券150万円（同9.7%）、金融機関外34万円（同2.2%）となっています。

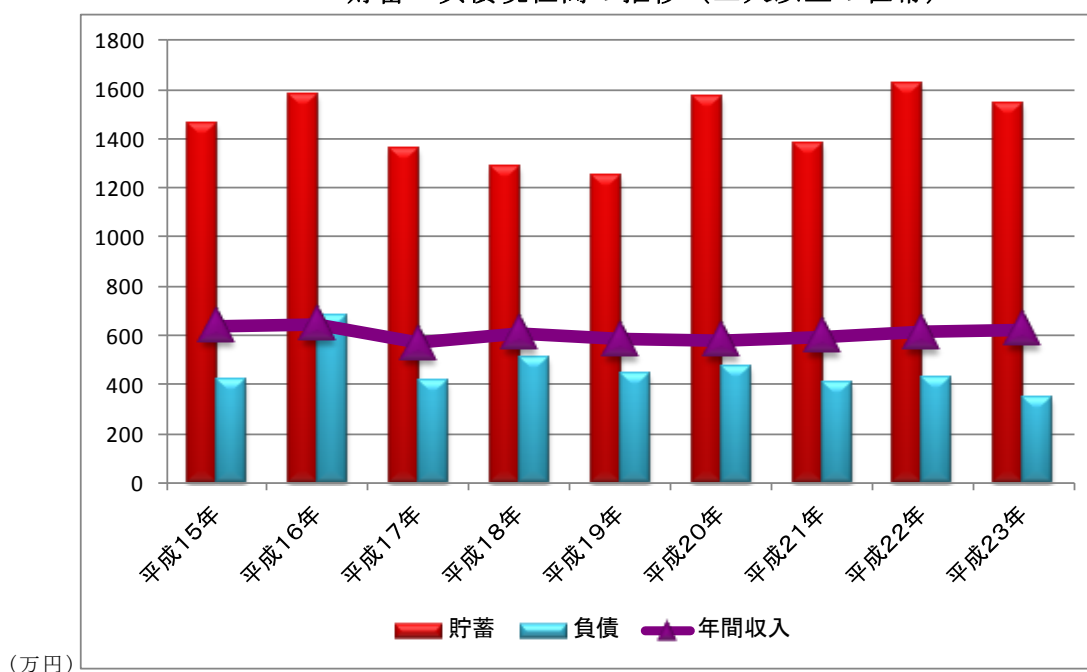
年間収入は622万円で、貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は、248.1%で、貯蓄現在高は年間収入の約2.5倍となっています。

#### ② 平均負債現在高は348万円(全国462万円)

1世帯当たりの負債現在高は、平成22年平均425万円に対し348万円と減少しています。

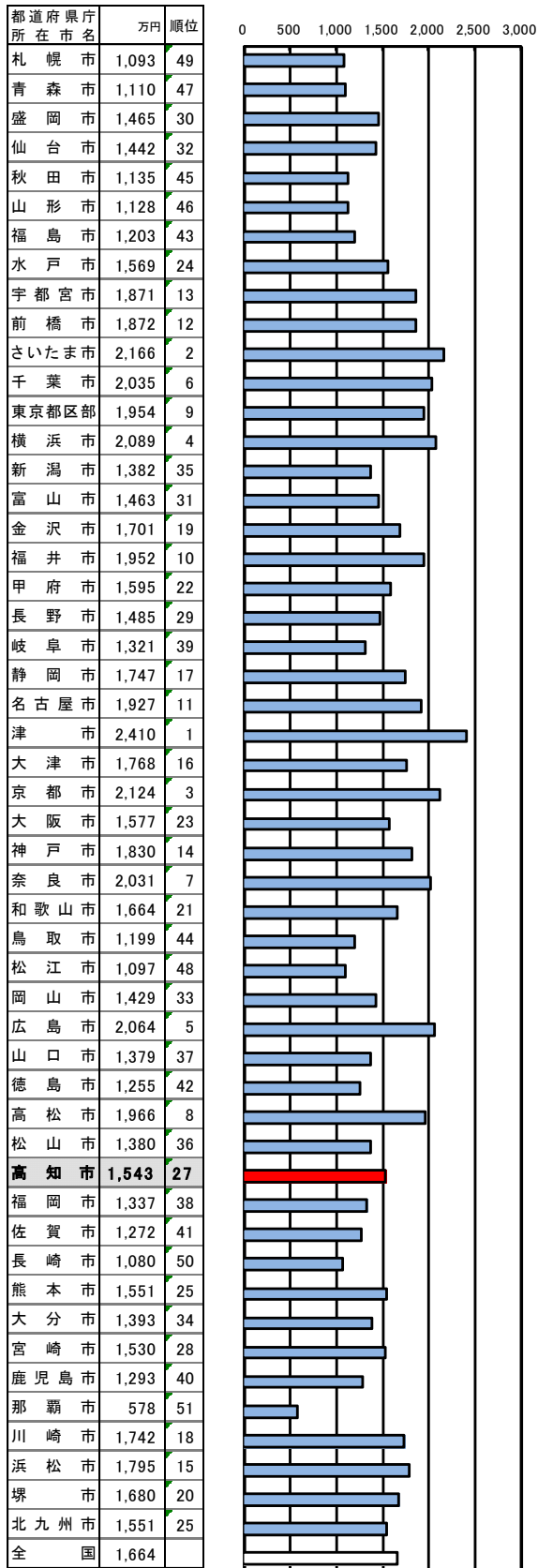
負債の種類別にみると、住宅・土地のための負債が289万円（負債現在高に占める割合83%）と最も多くなっています。

貯蓄・負債現在高の推移（二人以上の世帯）

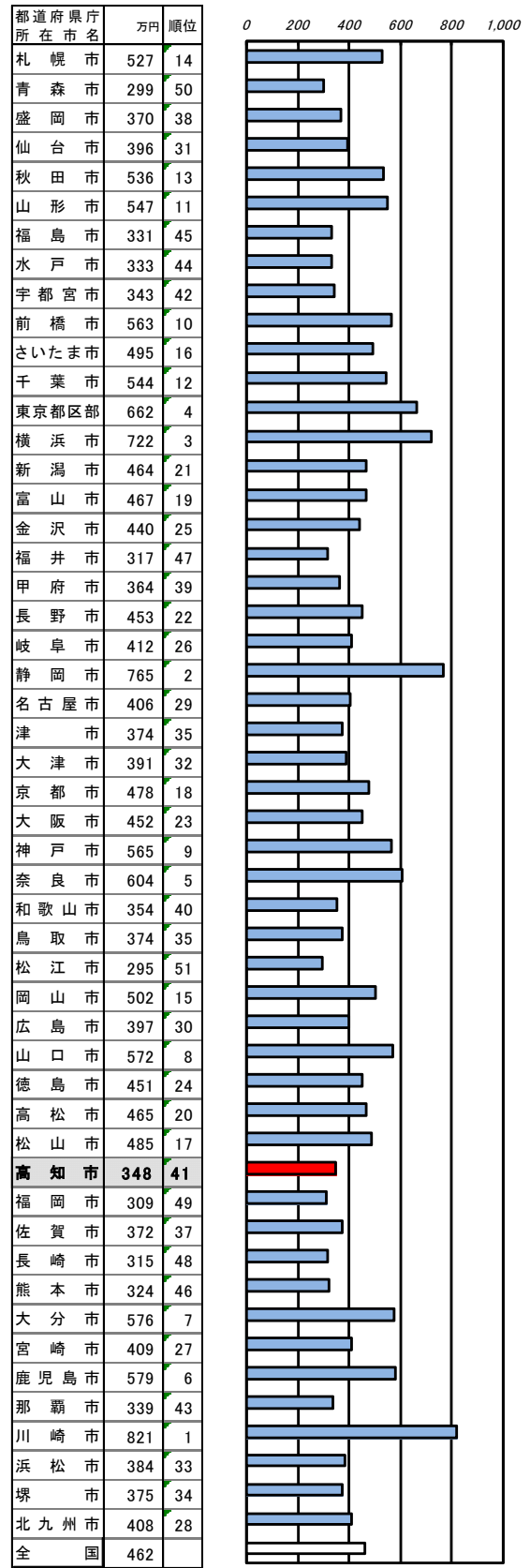


平成23年平均 貯蓄・負債現在高の状況(二人以上世帯)

貯蓄現在高(1世帯当たり)



負債現在高(1世帯当たり)



※都道府県庁所在市(47市区)と川崎市・浜松市・堺市・北九州市をあわせた51市区での順位